

長泉寺で百間川の治水と流域治水に関する出前講座を実施

●令和5年10月18日(水)に岡山市にある薬園山 長泉寺で、「長泉寺寺子屋文化講座」として百間川の治水の歴史と流域治水に関する出前講座を実施しました。



長泉寺 寺子屋 文化講座 Vol.41

2023年 8月31日 木曜日 19:00~20:30 @長泉寺

岡山の三大河川と治水対策
～特に旭川・百間川の歴史と流域治水について～

岡山県には岡山三大河川と呼ばれる吉井川、旭川、高梁川の三つの河川があります。河川の整備は、過去の水害や歴史、まちづくりや人の営みと密接に関連しており、特に百間川はその最たる事例であり、江戸時代に行われていた治水事業を現代へ受け継ぎ、完成させたものです。河川に関わる歴史に加え、近年の気候変動を踏まえた治水対策「流域治水」の考え方や取り組みを紹介させていただきます。

講師 松井大士(先生) 岡山県河川事務所 河川課 河川係 河川係長

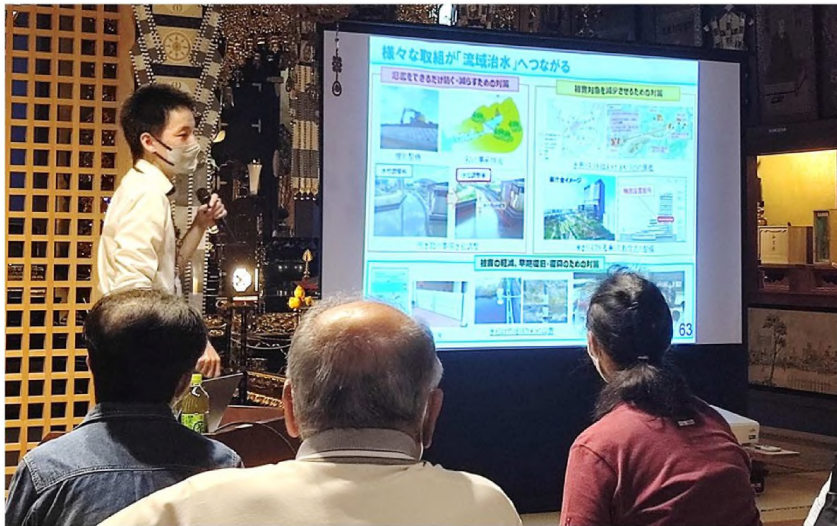
〒730-0855 岡山市北区長泉寺 長泉寺 寺子屋 文化講座

TEL 086-223-7450

岡山の三大河川と治水対策

～特に旭川・百間川の歴史と流域治水について～

岡山県には岡山三大河川と呼ばれる吉井川、旭川、高梁川の三つの河川があります。河川の整備は、過去の水害や歴史、まちづくりや人の営みと密接に関連しており、特に百間川はその最たる事例であり、江戸時代に行われていた治水事業を現代へ受け継ぎ、完成させたものです。河川に関わる歴史に加え、近年の気候変動を踏まえた治水対策「流域治水」の考え方や取り組みを紹介させていただきます。



旭川・百間川分流部の改築の必要性

津田 永忠が、旭川の増水時に洪水を流入させ、勢いを弱めながら下流へ流す目的で、連続した越流堤(「一の荒手」、「二の荒手」)を江戸期(1693年)に整備した。

その後、百間川分流部は、これまで幾度も被災を受け、修復・補強を繰り返しており、適正な分流のため、改築が求められていた。

みなさんができる「流域治水」とは?

① まずは水害リスクを知り、「自分事」と捉える

② 水害リスクを踏まえ、あらかじめ避難行動を考える

③ 雨水を一時的に貯留して、流出を抑制

旭川放水路(百間川)事業の概要

昭和40年に旭川臨幹河川改修事業(旭川放水路)採択
昭和42年以降、河川整備、河川水門の増設、分流部の改築等の整備を実施
令和元年9月、一連の事業が完了し、旭川臨幹河川改修事業(旭川放水路)が完成

河川	河川名称	平成10年(1998-)	平成10年(1998-)	平成10年(1998-)	平成10年(1998-)
河道	旭川(1974)～R1.6(2019.6)				
水門	H13(2001)～H27.3(2015.3)				
分流部	H27.1(2015.1)～R1.6(2019.6)				

様々な取組が「流域治水」へつながる

記憶できなかった防犯・減らすための対策

被害対策を減らすための対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【出前講座での説明内容】

- 岡山三川の特徴
- 江戸時代の治水を踏まえた旭川放水路(百間川)の整備
- 小田川合流点付替え事業の概要
- 気候変動を踏まえた水害対策「流域治水」～みんなで連携して取り組み、備える～